

本庄市長としての公約(政策宣言)の進行状況 [23年度実績および24年度の予定(一部紹介)]

暮らす

安全で安心して暮らせるまちづくり



従来からの取り組みの進行状況

公約① 高齢者福祉の充実(介護予防の推進)

→ 介護予防のための筋力アップ教室 26教室→38教室へ増加

公約② 障害者福祉の充実(社会参画の推進)

→ 障害者基本法に基づく第2期本庄市障害者計画、及び障害者自立支援法に基づく第3期障害福祉計画を策定

公約③ 救急医療体制の確保(24時間安心体制の整備)

→ 県北地域の休日・夜間の小児二次救急医療の空白日が、週4日から週2日に改善
→ かかりつけ医を持つことの啓発や、救急時の対応などについて講演会を実施

公約④ 犯罪・交通事故を減少させる運動の推進

→ 防犯ボランティア団体の組織率向上 70団体→78団体
→ 道路照明灯 11基、道路反射鏡(カーブミラー)58基を設置し(H23見込)、信号機 6基を新たに設置
→ 本庄市交通安全計画(第9次)を策定

公約⑤ 防災対策の推進(消防施設の整備、住宅等の耐震化)

→ 本庄市消防団消防ポンプ車の買い替え(5台購入、2台発注)
→ 児玉方面隊器具置場を整備(4棟竣工、2棟着工)
→ 災害時要援護者を登録、個別支援計画を作成し、自治会、民生委員等支援団体へ配布
→ [24年度] 地域防災計画を総合的に見直し、新たな地域防災計画を策定

公約⑥ 公園や道路・側溝等の住環境整備の促進

→ 本庄早稲田の杜地区に近隣公園(マリールートの丘)、公家塚・薬師堂公園を、児玉南区画整理地区に、第一金屋公園と千本桜公園を整備
→ 市民プール跡地には人工芝の多目的グラウンドを整備
→ 社会資本整備総合交付金を活用し、整備の遅れている道路・舗装・改良工事や狭隘道路の拡幅を実施中
→ 橋梁長寿命化のための点検・整備方針を策定中

公約⑦ 環境にやさしい社会づくりの推進

→ 「本庄早稲田の杜」における先導的なエコタウンとしての整備を推進しつつ、市内全域において持続可能で環境に配慮したまちづくりを推進
→ [24年度] 住宅用高効率給湯器の設置(太陽光と同時)に補助事業者向け新エネルギー設備・電気自動車用急速充電器導入に補助
→ 本庄市交通政策協議会(低炭素社会の実現など)の設置 他
→ 住宅用太陽光発電システム設置補助(22年度)53件→(23年度)84件
→ 公共下水道事業整備人口 41,516人。農業集落排水事業供用開始5地区、新規予定1地区
→ 本泉地区の環境保全について県への要望を実施

公約⑧ 市役所窓口サービスの利便性向上

→ 平成24年度から市税の口座振替の申し込みが手軽にできるように、口座振替申込書を作成し、納税者の皆様に配布
→ 平成23年10月から旅券申請窓口を開設。児玉郡内の美里町、神川町、上里町の在住者の方も申請することができる
→ [24年度] 法律相談の実施日数を月3日→4日

市長選(平成22年1月)時の新規公約の進行状況

公約① 小児高度医療センターの確保を目指します。

→ 深谷日赤の充実強化や、児玉郡市の実情に沿った医療体制の確立について、県への要望継続

公約② 消防庁舎の建設に取り組みます。

→ 用地取得を完了し、児玉郡市広域消防本部 新消防庁舎基本設計中

公約③ 水環境の再生に取り組みます。

→ 生活排水処理率 100%を目指して
→ 浄化槽設置への補助(24年1月末現在)26基
→ 生活排水処理施設整備構想に基づき、平成37年度を目標に、生活排水処理率100%を目指す
→ 県の川の再生プランに元小山川が選定され、地域ぐるみの浄化活動が更に充実

稼ぐ

活力ある経済基盤づくり

従来からの取り組みの進行状況

公約① 優良企業誘致の更なる推進

→ 23年11月赤城乳業本庄千本さくら工場周辺地区を産業立地用地として県が指定
→ 24年10月カインズ本部操業開始予定

公約② 景気対策の推進

→ 中小企業緊急運転資金融資利用者 170件、514,700,000円。利子補給金交付金額、8,468,396円(23年12月までの累計実績)

公約③ 「本庄早稲田の杜づくり」の推進

→ UR宅地分譲、本庄早稲田の杜<第1次>スタート
→ 民間による土地活用の開始
→ ベイシア(仮称)早稲田モールの出店発表(来年夏オープン予定)

公約④ 農産物のブランド化の推進

→ 化学肥料・農薬を使用しない環境保全型農業を支援
→ 有機100倍運動、環境保全型農業の推進により安全・安心な農作物を生産する農家の増加。地産地消ブランド化につながる取り組み進行中

公約⑤ 遊休農地の解消、新規就農の促進

→ 遊休農地所有者に対し、耕作再開等の意向調査をおこない、解消に向けた相談や指導の実施
→ 新規就農 22年度11人 23年度9人

公約⑥ 国道17号バイパス(本庄道路)事業化の促進

→ 建設促進期成同盟会、本庄市議会の特別委員会による要望活動(23年6月、10月、12月)を実施(民主党、国土交通省、大宮国道事務所、埼玉県)
23年度事業費は、1億1千万円で用地調査、道路設計が実施された

公約⑦ お祭りなど地域のPRと観光の推進

→ 市内各所観光看板のリニューアル
→ 「はにぼん」グッズのPR
→ はにわdeサミットの開催
→ 「笑うはにわ」パリ日本文化会館での美術展に出品(24年秋)
→ 武州本庄つみっこ研究会が県内各地のB級グルメ大会に参加

公約⑧ 行財政改革の推進(不断の改革を!)

→ 電子入札の導入。公正で透明性の高い入札や契約事務の効率化を図る
→ 民間委託等の推進。本庄市観光農業センターについて新規に指定管理者を導入。本庄地域包括支援センター業務の委託業者を選定し、平成24年度から業務委託

市長選(平成22年1月)時の新規公約の進行状況

公約① 地元雇用アップ大作戦

→ 誘致企業の地元雇用を促し、求人倍率大幅アップを
→ 進出を検討している企業に対し、ハローワークと連携し、地元の求職情報などを提供
→ 工業会等の会合において、地元雇用の促進を各企業に要請

公約② まちなか再生と人口の定住化を促進します。

→ 空き地や狭隘道路解消への取り組み
→ 市民プラザ跡地に複合施設を整備、児玉総合支所の建て替え、両事業に着手
→ 旧本庄商業銀行煉瓦造倉庫を購入し、地域活性化の資源として保存・活用を図る

公約③ 本庄早稲田駅への交通アクセスの整備・充実を図ります。

→ インターチェンジからのアクセス改善への取り組み
→ 市と県が一体となって本格的なアクセス改善に向け、関係機関と協議中



育む

心豊かで健やかな人づくり

従来からの取り組みの進行状況

公約① 教育環境の整備と子どもの学力向上の推進

→ 仁手小学校校庭の芝生化(旭小学校の芝生化 24年度)
→ ふれあいボランティアを42人配置(35人配置 24年度)
→ 学習支援員を4小学校へ配置(5小学校へ配置 4人→7人 24年度)

公約② 学校施設の耐震化の推進

→ 本庄東小新3号館完成・本庄東中建替基本設計策定
→ 本庄西中北校舎耐震補強工事完成・本庄西中体育館耐震補強工事実施設計完了
→ 中央小校舎・藤田小、児玉小、秋平小体育館耐震補強工事実施設計完了

公約③ 市民と協働の学校支援の推進

→ 全小中学校でPTA等の協力により学校応援団が活動、学校評議員会を開催
→ 学校ファームの取組 市内全小中学校で実施
→ 3日間の中学生社会体験チャレンジを市内125事業所で実施 キャリア教育を充実

公約④ 子育て支援の推進

→ 老朽した保育園に対して建設の補助を行い、入所児童の環境改善を図る
→ 「子どものショートステイ事業(有料・宿泊)」を開始
→ フックスタート事業の実施
→ [24年度] 子ども医療費の支給対象を中学校修了前まで拡大
→ [24年度] 公立保育所の民営化に伴う改修工事を実施

公約⑤ 早稲田大学との連携事業の推進

→ まちづくり 川淵三郎塾の取り組み、エコシティデザインワークショップ など
→ 人材育成 市内小中学校と連携した総合学習への取組(河川調査、国際理解教育、環境教育、理科教育等)、職員研修(政策立案研修)、スポーツ科学学術院教授によるスポーツ指導者養成講習会の実施、子ども大学ほんじょう等
→ 文化の育成・発展 本庄市・早稲田大学共同企画番組、地域映画製作委員会、市民総合大学の講師、旧本庄商業銀行煉瓦造り倉庫保存活用のための調査研究 など
→ 研究開発 本庄スマートエネルギータウン構想、本庄早稲田の杜まちづくりプロジェクト委員会、産学官連携研究拠点推進委員会、次世代モビリティエリアマネジメント研究会、身体活動・日常生活に関する調査(秋平小学校・藤田小学校を対象)の実施等

公約⑥ 市民一人1スポーツの推進、川淵三郎塾の充実

→ スポレクフェスタ(市民自ら運営・参加型)開催
→ リーダー資質の向上と新規指導者の養成を行う研修等の実施
→ ウォーキングの推進、コースマップの作成と充実及び総合公園内に標柱(距離を表示した)を設置
→ 新たな参加者層を呼び込む教室等の実施

公約⑦ 生涯学習の推進

→ 市民総合大学の講座の充実
→ 子ども大学ほんじょうの開校
→ 親の学習手引書と親子手帳を活用した親の学習講座の開催
→ 小学校7校で、JFAこころのプロジェクト「夢教室」を実施

公約⑧ 人権を尊重する人づくりの推進

→ 「配偶者暴力相談センター」を設置し、DVに対する相談体制を整備
→ 人権教育研究会において渡部陽一氏(戦場カメラマン)が講演
→ 「人権作文」及び「人権標語」の取組



市長選(平成22年1月)時の新規公約の進行状況

公約① 発達障害児対策の充実

→ 発達障害等支援推進会議を開催し、関係機関等を含めた連携体制を検討中
→ 早期把握、早期支援の充実に向け、事業の見直し
→ 効果的に5歳児相談を実施していくための検討と、体制づくり
→ [24年度] 特別支援学級補助員を4人配置

公約② 市民の手で作った「親の学習手引書」「親子手帳」の活用

→ 親の学習手引書と親子手帳を活用した親の学習講座の開催

公約③ 木のぬくもりのある校舎の整備

→ 本庄東小学校新3号館完成、教室、廊下に県産をはじめとする木材使用
→ 本庄東中建替基本設計策定

